

ピンホールカメラ

61760ICC

作製テキスト



日本針穴写真協会

# 61760ICC の作製

61240ICC のピンホールカメラは、焦点距離およびフォーマットが異なりますが、基本的な構造は一緒となります。部品も組み立て手順もほとんど同じになります。61240ICC の組み立てでもこのテキストをご活用ください。

## 部品一覧(61760ICC)



部品記号	使用箇所	部品名	部品記号	使用箇所	部品名
A	カメラ本体		N		カバー
B	インナーフィルムケース		O	赤窓	引き蓋
C	カメラ上蓋		P		赤プラスチック板
D	三脚穴	1/4 ナット	Q	ピンホール台	
E		カバー	R	撮影範囲	縦位置
F	スプール	S	横位置		
G	ノブ		T	角度固定具	本体
H			U		三脚穴カバー
I-J	巻き軸		V		ノブ
K	シャッター	カバー	W		ゴムシート
L		引き蓋	X		ゴムシート
M	シャッターロック	引き蓋	Y		1/4 インチナット
銅箔:0.01mm厚 3枚 耐水ペーパー(小)3枚			Z		1/4 インチボルト
			?		ストッパー

カメラ (61760ICC)



作例



## 組立の前処理

3D プリンタで印刷時のサポート材はほとんど除去してありますが、部品についているバリ等がありますので、ヤスリ掛けして取り除いていきます。

次に、カメラの蓋やフィルム巻き上げノブがスムーズにはまるか確かめます。きついようであれば、ヤスリ等を使って削っていきます。

## 組立の手順

組立の準備が出来ましたら、次の手順で組み立てていきます。

- A) フタに巻き上げ用のノブと中軸を付けます。
- B) 三脚穴に六角ナットとフタを接着します。
- C) シャッター部分を接着します。
- D) 赤窓に赤いプラスチック板を入れ、接着します。
- E) 撮影範囲の部品を接着します。
- F) 角度固定の部品(ノブ)を組み立てます。
- G) ピンホールを作製します。
- H) 作成したピンホールをピンホール台にノリで貼り、テープでカメラ本体に貼り付けます。

## 仕上げ処理

3D プリンタで印刷時に白くなってしまっているところやヤスリ掛けをしたところなどは、ヒートガンで加熱することできれいにすることが出来ます。ただし、もともと熱に溶ける性質の樹脂ですので、やりすぎると変形してしまったりしますので注意が必要です。また、カメラ本体は黒色なので、墨汁(筆ペン)で塗っても見栄えはかなり良くなります。こちらの方がお勧めです。積層面で割れが入ってしまった場合は、瞬間接着材をしみこませて接着しておきます。

## 組み立て手順

前処理 部品に付いているバリ等を落とす。



①バリをヤスリで落とす。



②ノブのまわり具合をチェックします。



③ノブの角をヤスリで丸めます。



④ヤスリ掛けで白くなった部分は筆ペン（墨汁）等で補修すると見た目がきれいになります。

A) フタに巻き上げ用のノブと中軸を付けます。



①ノブにボンドを塗る。



②中軸にボンドを付けて、カメラ上蓋を挟むようにノブと接着する。

D) 三脚穴に六角ナットとフタを接着します。



①三脚穴にボンドを塗る。



②三脚穴にナットを入れる。

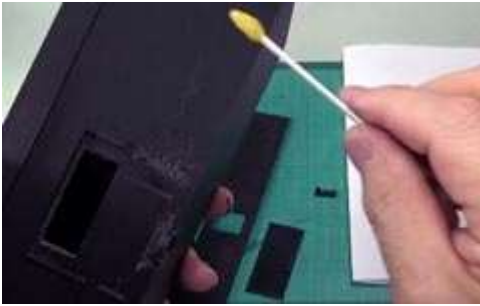


③ナットに接着剤を塗る。



④三脚穴カバーに接着剤を塗り接着する。

B) シャッター部分を接着します。

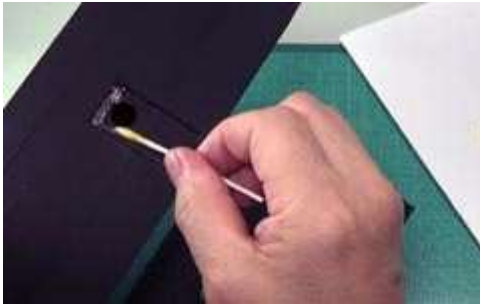


①シャッターカバーにボンドを塗る。



②カメラ本体にボンド塗り接着する。

C) 赤窓に赤いプラスチック板を貼り、カバーを接着します。



①赤窓にボンドを塗る。



②赤いプラスチック板を貼る。



③カメラボディにボンドを塗る。



④赤窓カバーにボンドを塗り接着する。

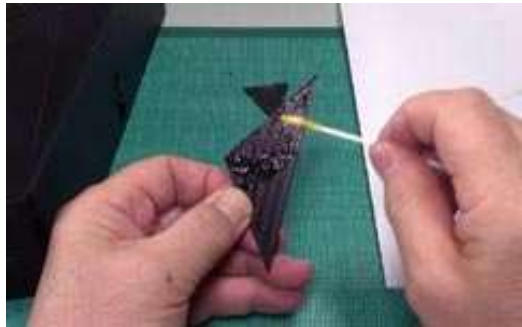
E) 撮影範囲の部品をカメラに貼る。



①撮影範囲の部品の位置を決め、鉛筆で印を付ける。



②接着剤を塗る。



③接着剤をぬり接着する。



④縦位置の撮影範囲の部品を同様に貼る。

E) 角度固定具の部品を組み立てます。



①ノブにボンドを塗る。



②ノブに六角ボルトを接着する。



③さらにボルトを接着する。



④ボルトを入れたところにボンドを塗る。



⑤ノブカバーにボンドを塗り、ノブに接着する。



⑥角度固定具下部に三脚穴にボンドを塗る。



⑦ナットにボンドを塗り接着する。



⑧ストッパーにボンドを塗る。



⑨ゴムシートにボンドを塗る。



⑩ゴムシートにストッパーを貼り、余分なゴムシートをカットする。



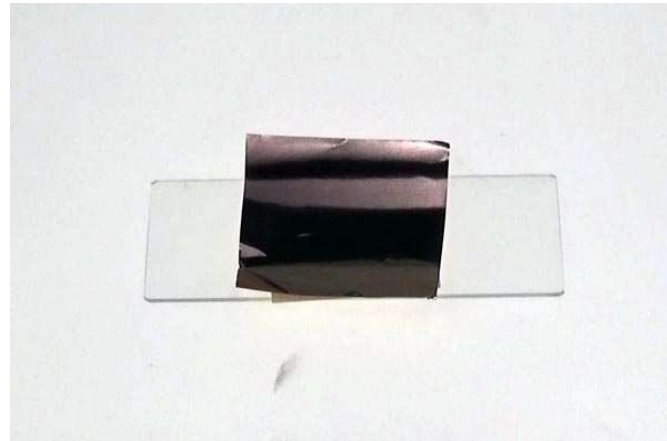
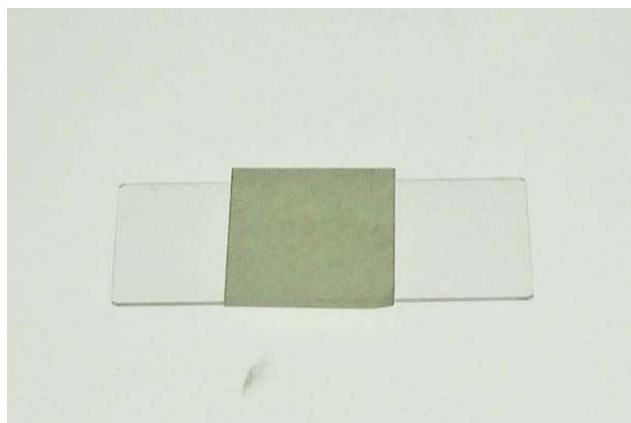
⑪ストッパーの内側のゴムシートに少し小さな穴を空ける。



⑫ノブをストッパーにはめる。

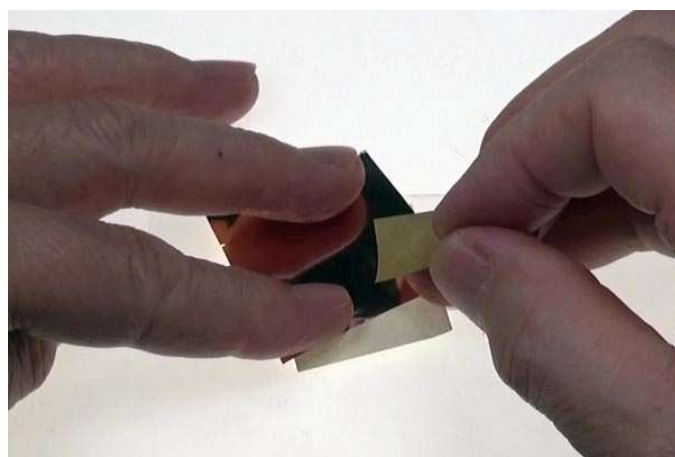


H) ピンホールを作製します。



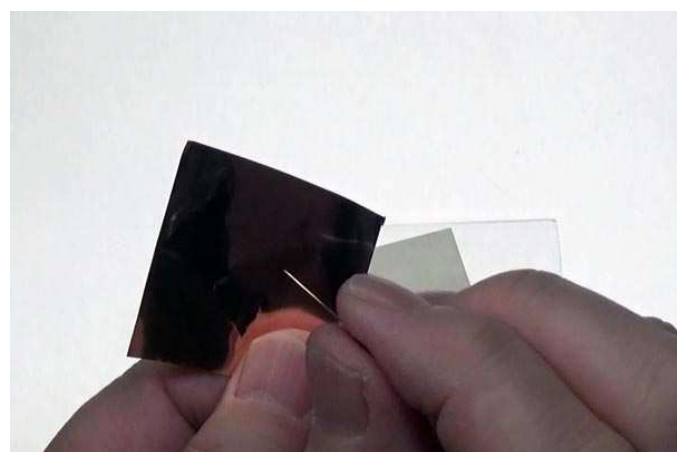
①スライドグラスの上にコピー用紙1枚を置きます。

②コピー用紙の上に、0.01mm厚の銅箔をのせます。



③市販の細い待ち針を垂直に銅箔にさします。

④裏返して、出たバリを耐水ペーパー(1000~1500番)で取ります。



⑤最初に針で空けた方から、再び針の穴に針を刺し、針をキリのように回して、穴を丸くしていきます。この時、向こう側に押してしまいますと穴が大きくなってしまいます。

⑥穴の形、大きさを確認します。ルーペの倍率は20~30倍程度が使いやすいです。

H) 作成したピンホールをピンホール台にノリで貼り、テープでカメラ本体に貼り付けます。



①ピンホール台にノリを付け、ピンホールを貼る。

②ピンホール台からはみ出した銅箔はカットする。



③ピンホール台の上下左右にテープを貼る。

④余分なテープはカットする。



⑤ピンホールがシャッターの中央に来るようにカメラ内部に貼り付ける。

⑥余分なテープはカットする。インナーケースが入るか確認する。



**カメラの完成です。**

## カメラ仕様(61760CC)

焦点距離	f=60mm
ピンホール直径	$\phi = 0.27\text{mm}$
ピンホール厚	銅箔 D=0.03mm
F 値	F=220
画角(対角)	$\angle = 113^\circ$
使用フィルム	ブローニー(120)
撮影領域	ブローニー617(56×172mm)
外形寸法(幅×高さ×奥行)	222×83×64mm
質量	263g
フィルム装填	インナーフィルムケース方式
付属品	角度固定具(三脚穴装着用) フィルム装着用ノブ

### 【3D 部品 1 年間保証】

3D 部品が壊れた場合、下記メールアドレスに、カメラ名と部品番号と送り先(郵便番号、住所、氏名、電話番号)をご連絡下さい。部品を郵送いたします。

カメラ名:61760ICC      部品番号:部品一覧の A～?

連絡先:nakajima@jpps.jp (中島宛)

